

学校図書館活用推進事業実践報告

R 4 . 1 . 2 5

太夫浜小学校

太夫浜小学校の活用推進校としての取組

(1) 「学習センターとして」の活用を促進するために

- ① 図書館資料年間活用計画（使用資料一覧）の作成【中学校区との連携】
- ② 授業での図書館資料の活用

(2) 「情報センターとして」の活用を促進するために

- ① 司書による調べ学習のサポート
- ② 「調べ学習の手順」の掲示【中学校区との連携】

(3) その他の取組

(1) 学習センターとしての活用を促進するために

① 各学年の学習にあった年間指導計画（使用資料一覧）の作成

- ・効果的に学習に図書館資料を活用するには、いつ、どのような資料の用意が必要なのかについて、授業者と司書とで共有するために作成した。
- ・中学校区で、各学年や教科で使用する図書館資料の情報を交換することで、児童に提供する資料の視野を広げ、よりよい資料の提供に役立てた。【中学校で連携】
- ・司書が、年間に必要な図書館資料を把握しておくことで、資料収集を円滑に進められた。

月	内容	1年	2年	3年	4年	5年	6年
5月	教科 単元		国語「この本、読もう」		国語「一つの花」	社会「自然条件と人々の暮らし」	国語「帰り道」
	希望の本		40ページの本と地方の昔話		戦争に関する本	暖かい地方・寒い地方のくらしの本	33ページにある本
	冊数		学年で20冊程度		一人1冊(41冊)	学年で22冊程度	1冊ずつ
6月	教科 単元		国語「たんぼのちえ」				総合「福島を魅力を発信しよう」
	希望の本		50ページの本と植物の知恵についての本				福島・会津の旅行雑誌
	冊数		学年で20冊程度				20冊程度
7月	教科 単元	生活科「きれいにさいてね」	国語「お気に入りの本をしようかしよう」	国語「まいごのかぎ」		総合「余すところなく使う米文化」	
	希望の本	あさがおに関する本	94、141～143ページの本	ふしぎなことが起こる物語		米に関わる本	
	冊数	学年で10冊程度	一人1冊31冊	1人1冊32冊		1人1冊(計43冊)	
8月	教科 単元	国語「このほんよもう」	生活科「わたしたちの野菜畑」				
	希望の本	てぶくろ、3ひきのくま、3ひきのやまのからがらどん	野菜栽培の本				
	冊数	3冊	学年で30冊程度				
9月	教科 単元	国語「としゃかんとなかまし」	生活科「生き物とともだち」	国語「仕事のくふう、みつけたよ」	国語「事実にもとづいて書かれた本を読もう」	社会「水産業のさかんな地域」	国語「ブックトークをしよう」
	希望の本	読みたい本の見つけ方を知る活動	植物・昆虫図鑑	仕事に関する本	教科書掲載の本	水産業に関わる本	81ページのテーマに合った本
	冊数		学年で30冊程度	1人1冊32冊	一人1冊(41冊)	学年で22冊程度	各テーマ8冊程度
10月	教科 単元					国語「作家で広げるわたしたちの読書」	
	希望の本			初めて知ったことを知らせよう		教科書に掲載の本	
	冊数			1人1冊32冊		1人1冊(計43冊)	
11月	教科 単元					社会「自然災害にそなえるまちづくり」	
	希望の本					中越地震・7・13水害など災害に関わる本	
	冊数					学年22冊	
12月	教科 単元	国語「うみのかくれんぼ」	国語「どうぶつ園のじゅうい」		国語「ごんぎつね」	国語「たずねびと」	国語「やまなし」
	希望の本	身を隠す生き物の本	126ページの本と生き物の世話をする仕事の本		新美南吉の本	原爆に関わる本・教科書掲載の本	坂井寛治の本や、同じ時代に生まれた作家の作品
	冊数	10冊程度	学年で20冊程度		一人1冊(41冊)	1人1冊(計43冊)	各1冊ずつ

令和3年度太夫浜小学校図書館資料年間活用計画【前期】

② 授業での図書館資料の活用

【取組例 1】

学年・教科	1年・国語
教材名	～じどう車ずかんをつくろう～「じどう車くらべ」
活用した資料	はたらく車ずかん（49冊）
活動の様子・資料の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・「じどう車ずかんをつくろう」の学習で、救急車、清掃車、パトカーなどの車がどんな仕事をしているか、どんなつくりになっているかを図鑑の文面を読み、カードにまとめた。 ・資料には車の写真もあり、よく見て絵を描いたり、書かれている説明から必要なことを書き出したりしてカードを作った。
子どもたちの様子 司書との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・司書から全児童分の図鑑を用意してもらったことで、子どもたちは興味のある車を幅広い選択肢をもって選ぶことができた。中には、最近目にすることの多いキッチンカーの仕事やつくりを調べた児童もいて、車の内部などの写真に対し、興味をもって調べ、絵に描いていた。

【取組例 1】完成した「じどう車ずかん」



【取組例 2】

【取組例 2】集められた世界の民話

学年・教科	3年・国語
単元名・教材名	～本の帯を作って世界の民話を紹介しよう～「三年とうげ」
活用した資料	世界の昔話（32冊）「こども世界の民話」（実業之日本社）など
活動の様子・資料の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書教材の学習をする際、朝読書の時間に、並行読書を行った。 ・並行読書をする際に、読書カードを使用した。表面には、読んだ本の題名と感想、裏面に世界地図をつけ、読んだ本の場所に色を塗った。 ・自分が読んだ「世界の民話」の本の中から、友達に紹介したい本を選び、面白かったところを本の帯にし、学級に掲示した。
子どもたちの様子 司書との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習や隙間時間に意欲的に読む姿が見られた。本の帯を書く際は、自分で選んだ本からおもしろいと思う箇所とその理由を書いた。できた本の帯をグループで読み合ったり、掲示した物を見合ったりして、学習のまとめをすることができた。 ・児童に興味・感心をもたせるために、1、2年生の国語で学習した絵本についても並行読書のリストに入れてもらうなど担任の要望をきいてもらい、30カ国以上の本の準備をもらった。 ・1人1冊以上の本が教室にあり、子どもたちは意欲的に読んでいた。様々な国の絵本があり、多くの国に関心をもつことができた。

(2) 情報センターとしての活用を促進するために

① 司書による調べ学習のサポート

- ・前期・後期，計2回の図書館オリエンテーションを実施。
- ・オリエンテーションで，調べ学習で用いる図書館資料の活用法やマナーを司書が説明。
- ・各学年の学習内容にあったものを，担任と司書が相談して実施。

実践例) 1年・・・ラベルの意味と正しい場所への返却
 2・3年・・・図鑑の使い方
 4年・・・各分類について 百科事典の使い方
 5年・・・年鑑の引き方
 6年・・・引用・出典・著作権について

【取組例3】

学年・教科	2年・生活科
単元名・教材名	生きものとともにだち
活用した資料	生き物図鑑（31冊）
活動の様子・資料の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・2人で一冊図鑑を配り，ペアで調べ学習を行った。 ・秋の虫（オニヤンマやカマキリ等）の写真を見せ，もくじ名前の見当を付けさせ，写真の虫と合っているか調べた。 ・索引からの調べ方も教え，虫についての様々な質問に答えた。
子どもたちの様子 司書との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科の学習で，虫探しの活動をした。その際，カマキリやいろいろな種類のバッタに関心をもっていたので，「あの時つかまえたカマキリだ。」「あのバッタの名前が分かった。」などと話しながら，図鑑を用いてしらべる方法を学ぶことができた。 ・児童が調べやすい生き物や図鑑の冊数などを事前に打ち合わせしたことで，興味をもって取り組ませることができた。その後も，昆虫や植物の名前を図鑑で調べ，学習に役立てることもできた。

【取組例4】

学年・教科	5年・総合的な学習の時間・国語
単元名・教材名	～SDGsについて，調べよう～ 「グラフや表を用いて書こう」
活用した資料	ジュニア子ども年鑑（22冊），SDGs関連の本（12冊）
活動の様子・資料の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間にSDGsについての調べ学習をした。その学習に関連させて，国語では社会の現状について，自分の考えを作文にした。作文を書く際，自分の考えを強化するための資料を「ジュニア年鑑」から探して根拠としたり，統計資料からヒントを得て，作文の材料としたりした。
子どもたちの様子 司書との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・「ジュニア年鑑」の使い方を図書館司書から教えてもらった。 ・さまざまなグラフを読み取ることで，自分たちが考えたい「社会は暮らしやすい方向に向かっているか，いないのか!？」に関する事柄を見付けることができた。 ・インターネットでも，同様の調べ学習を行った。検索のキーワードが思いつかない児童，何をどう調べるといいのかについて困っている児童は，本を利用することで，調べやすさを感じていた。 ・インターネットでは，出典が不明な場合もあり，本を用いることでより正確な情報を獲得することができていた。



【取組例 4】
年鑑の引き方
を学び、調べ
学習に活用

【取組例 5】

学年・教科	4年・国語
単元名・教材名	～リーフレットを作ろう～「伝統工芸のよさを伝えよう」
活用した資料	○伝統工芸について書かれた本（30冊） 「伝統工芸のよさを伝えよう」（汐文社） 「伝統工芸って何？」（美術書出版株式会社） など ○総合百科事典ポプラディア（22冊）
活動の様子・資料の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に図書オリエンテーションで、司書教諭から「百科事典の引き方」について学習をした。 ・教科書教材『世界にほこる和紙』の学習後、自分が伝えたい伝統工芸を決め、「伝統工芸について書かれた本」を基にリーフレット作りを行った。 ・リーフレットを完成させ、学級で紹介し合った。
子どもたちの様子 司書との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習で、「リーフレットを作って伝統工芸を伝える」というゴールを示し、『世界にほこる和紙』を学習することを伝えた。そのため、「どのように伝統工芸を伝えるのか」、「どの伝統工芸を伝えよう（並行読書）」という目的を明確にして学習を進めることができた。 ・並行読書をしながら伝統工芸を決めていったが、1冊の本に複数人の希望があった場合は、コピーして使用した。 ・後期図書オリエンテーションの際に、司書教諭から百科事典の引き方について学んだ。学んだことを生かし、分からない語句があったときには百科事典を引いて調べることができた。

【取組例 5】本から調べたことをもとに、iPadを利用して作成したリーフレット

このように、岐阜提灯は、和紙にえがかれたきれいな絵と、火袋のゆががなまるい形がみりよくの、美しい、国の工芸品なのです。

また、和紙にえがかれた美しい絵もみりよくの一つです。明かりを灯したときに、きれいになるように色のこさを工夫しています。火袋にそのままえがく「絵付け」と和紙をはるまえにえがく「すりこみ」という技術があります。

その一つは、明かりをともし火袋のまるい形です。形は、球形と卵形があり、細い竹ひごを同じにはばでらせん状にまきまます。そして、中が空っぽになるように、張型はりかたという専用の型に竹ひごをまいていき、その上につけていったら、中から張型を取り出すのです。

岐阜提灯ぎふちようちんは、岐阜県岐阜市で作られている提灯です。岐阜県岐阜市は江戸時代から和紙と竹の生産地として知られていました。皆さんには、国の伝統工芸に指定されている、岐阜提灯を知ってほしいと思います。そこで、岐阜提灯のみりよくを紹介し



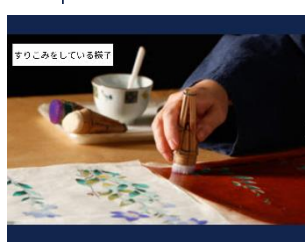
岐阜提灯



絵付けしている様子



張型に竹ひごをまいている様子

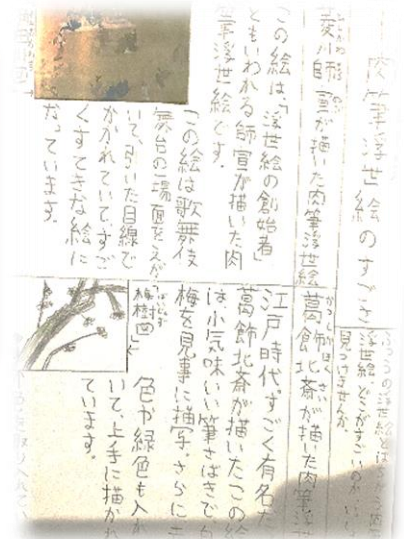


すりこみをしている様子

〈参考〉
小安宏幸「伝統工芸のよさを伝えよう」
株式会社汐文社
二〇二〇年

【取組例 6】

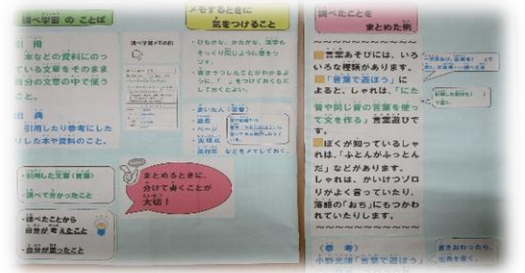
学年・教科	6年・国語
単元名・教材名	表現の工夫をとらえて読み，それをいかして書こう ～日本文化を発信しよう～
活用した資料	○教材「鳥獣戯画を読む」（光村図書）・調べた情報の使い方（光村図書） ○日本文化について書かれた本（40冊） ～例～「和楽器」和の技術を知る会（文溪堂） 「花火の大図鑑」日本煙花協会（PHP 研究所） など
活動の様子・資料の使い方	<ul style="list-style-type: none"> 教科書教材「鳥獣戯画を読む」で、『鳥獣戯画』の素晴らしさを伝えるために筆者が行っている論の展開や表現の工夫，絵の示し方を学習した。 自分が伝えたい日本文化を決め，「日本文化について書かれた本」を基にパンフレット作りを行った。 パンフレット作りの途中で，司書から「調べた情報の使い方」をテーマに学習をした。引用の仕方や著作権について学んだ。 パンフレットを完成させ，学級で紹介し合った。
子どもたちの様子 司書との連携	<ul style="list-style-type: none"> 単元の学習で，「パンフレットを作って日本文化を伝える」というゴールを示し，『鳥獣戯画を読む』を学習することを伝えた。そのため，「どのように日本文化を伝えるのか」，「どの日本文化を伝えよう（並行読書）」という目的を明確にして学習を進めることができた。 並行読書をしながら日本文化を決めていったが，1冊の本に複数人の子どもが活用したい人がいたため，iPad でページ撮影し保存させた。 パンフレット作りの途中，司書教諭から引用の仕方と著作権について学んだ。引用の仕方を学び，パンフレットに正しく出典を示すことができた。また，著作権では，「参考資料は iPad で撮影して，出版してはいけない」ということを学んだため，iPad でページ撮影したことがいいのか疑問に思った子どももいた。そのため，撮影して保存した写真は，パンフレット完成後，データを削除していた。 本以外のインターネットで利用してグラフを書いていた子どもも，ホームページアドレスで出典を記載していた。 素晴らしいパンフレットが完成できた。司書に必要な資料を準備してもらったり，引用や著作権の学習をしてもらったりした。とても学習がしやすかった。



【取組例 6】司書が引用の仕方を子どもたちに伝え，学んだことを活用しながらパンフレットを作成。

② 「調べ学習の手順」の掲示【中学校区との連携】

- ・調べ学習に必要な知識や方法を継続して指導することで、資料の調べ方や出典の明記の仕方等の技能を身に付けさせる。
- ・図書館に掲示をすることで、様々な学年が調べ学習の際に活用できた。



(3) その他の取組

① 学校司書と担任との打ち合わせの時間を確保する

- ・各学年，学期に1回程度（16：00～16：15）
- ・本の選書，授業で使用する図書館資料，授業で図書館を利用する際の内容等についての打ち合わせを行った。

② 授業での図書館活用

- ・図書館の割り当てを読書の時間だけでなく，調べ学習の時間として週2時間配当。
- ・1～4年・・・「読書の時間」として，週1回の図書館利用。
- ・5・6年・・・調べ学習として積極的に活用。



③ 読み聞かせの会の実施

- ・ボランティアによる読み聞かせの実施により，児童の興味関心を高める。
- ・読み聞かせの本の内容を，各学年の学習内容にあったものにする。



例) 教科書に掲載されている作者の本
校外学習の行き先に合わせた本

④ 本の展示

- ・校内に2カ所展示。(内容は以下の通り)
- ・季節や行事に応じて，全校に共通するテーマでの展示。
- ・各学年の学習にあわせて学習内容にあったものを展示。(担任と司書との連携)

5月	運動会	11月	4年 新潟・地域の本
6月	1年 鳥の本	12月	5年 偉人の本
7月	2年 花と野菜の本	1月	かぜ予防
9月	3年 戦争の本	2月	6年
10月	文化祭	3月	卒業

⑤ 中学校区との連携

- ・図書館便りの交換，掲示
- ・読書旬間の同時期開催
- ・中学校区での「しおりコンテスト」

南浜中学校の生徒が作成したしおりを用いて，中学校区3校で「しおりコンテスト」を開催した。中学生が作成したしおりを小学校に多数寄付してもらい，読書旬間で行った「くじびき」の景品にした。小学生からは，大好評であった。

